

第6期東久留米市市民環境会議 第1回会議録

会議名	第6期東久留米市市民環境会議第1回会議
日時	平成29年8月8日(火) 17時30分～19時30分
会場	東久留米市役所 7階 703会議室
出席者	出席委員数7名 欠席委員数0名
出席職員	環境政策課長 計画調整係長 緑と公園係長 計画調整係主事
内容	<p>I. 期初事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境政策課長あいさつ 2. 委嘱状の交付 3. 自己紹介・所属部会の希望 4. 所属部会の決定 5. 座長・副座長の選出 <p>II. 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第二次緑の基本計画中間見直しについて 2 その他報告 <p>III. 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市民環境会議のあり方について 2 その他(次回全体会・事務局会の日程について ほか)
配布資料	<p>資料1. 市民環境会議 第6期委員名簿</p> <p>資料2. 東久留米市第二次緑の基本計画(中間見直し骨子案)</p> <p>資料3. 市民環境会議のあり方について(事務局案)</p> <p>参考資料 提言書(第5期)、第5期 市民環境会議 報告書</p>
議事内容	<p>(⇒は意見、質問等 →質問等に対する回答)</p> <p>◎全体会</p> <p>I. 期初事項 (進行は計画調整係長)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市からのあいさつ(省略)…市長別途所用につき、環境政策課長から挨拶があった。 2 委嘱状の交付(省略)…市長別途所用につき、環境政策課長から委嘱状が交付された。 3 自己紹介・所属部会の希望(省略) 4 所属部会の決定(資料1) 5 座長・副座長の選出 <p>II. 報告事項 (以降、新座長による進行)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第二次緑の基本計画中間見直しについて(資料2) <ul style="list-style-type: none"> 前回からの変更点を計画調整係長より説明。今後庁内に検討をお願いし、検討部会に戻す。市民環境会議においても内容を確認し、意見等を8月中に事務局に頂きたい。 ⇒部会としてまとめた方が良いのか。また、パブリックコメントを12月に行うことから、そこでも意見をまとめることになる。 →12月では大枠が定まっている状態の為、8月に大枠について意見を部会でまとめて提出をした方がよい。水とみどり部会は次回9月7日になるため、そこで意見をまとめる。

⇒緑の基本計画に実施計画はあるのか。

→実施計画はない。

⇒実際の進行チェックを行う機関があるのか。

→環境審議会を基本とし、庁内環境委員会でも行っている。庁内環境委員会は公開されてはいない。

⇒環境基本計画と緑の基本計画に重複部分がある。作成する根拠となる法令が違うため別々で作成するのは仕方がないが、見る側としてはまとまっていた方がよい。

→例えば、すべてを長期総合計画にまとめれば見る側はわかりやすい分、個々の取り組みは弱くなる。あるいはそれぞれの計画に基づき行うことで国費等の取得も可能となる。そうした点も踏まえた議論をお願いしたい。一方で、今回は中間見直しの為大幅な変更は改定の時期に行うものである。

2 その他報告

・第5期の提言書・報告書に関して市長から意見等はあったか。また、ロゴマークについての報告はしたのか。

⇒今回の第6期委員委嘱と共に市長に会って、調整する予定であったが、市長の参加が難しくなったため、説明等は行っていない。提言書・報告書は決裁を回してあるため、読まれてはいる。今後調整をし説明を行っていく。(8月9日実施)

III. 議題

1 市民環境会議のあり方について

① 事務局案の説明(資料3)

委員の再募集にあたっては、会議のあり方を検討してからがよいとの考えから、資料3に沿って計画調整係長から市民団体の連絡会的な組織を案として考えていることの提示があった。

② 近隣市の類似会議の状況について

電話にて聞き取った内容の報告があった。

小平市にはエコダイラネットワークが存在する。

清瀬市、西東京市、東村山市における協働事業は各環境団体それぞれ個別での取り組みであった。

③ 質疑応答

⇒案の連絡会と市民環境会議の関係性はどのようなものか。

→現在の市民環境会議が案の中では連絡会となる。

⇒会議体をすぐに変更するというものか。

→検討がすめば変更もある。

⇒団体のインタビューをしてはどうか。

⇒環境基本計画に反するのではないか。

→環境基本計画においても市民環境会議の強化も含め、協働の仕組み作りが主な施策となっている。

④ 案に対する意見及び今後の方向性についての各委員の考え

・連絡会という形では環境基本計画や緑の基本計画に記載されている「実施・推進組織」に当てはまらないのではないか。

- ・書かれていることには賛成。市民環境会議に所属することのメリットを外部に示すことが今までできなかった。環境団体をテーマ（水・緑・エネルギー等）ごとに集まってもらい考えを聞く場を設けたい。現状の会議のまま、運用を変えてはどうか。
- ・現状の会議のままでは委員が減る一方。
- ・市民環境会議とは何かを考える必要があるのではないか。連絡会にしたときに実行方法や責任の所在についてもしっかり決めていく必要がある。
- ・水とみどり部会として、案のようなことを第6期では考えていた。具体的には部会の中で生き物について今年は活動を行いたいため、ほかにも生き物に特化した市民の方や、市内の学校の先生に参加してもらって情報交換や、生き物調査などの取組を行いたい。
- ・市民環境会議では市民の声を聞くことが大事だと考えているため、今後は市民の声を活かすような努力も必要になってくる。

⑤ 今後の進め方

- ・内容の是非と、決定のプロセスの考えは別物。それを踏まえて考えていく必要がある。
- ・次回9月14日（木）午後4時から全体会を開催するものとする。座長において論点整理のメモ・委員と事務局で組織のフロー図を作成する。各委員において意見をまとめ提出する。

◎部会（水とみどり部会）

1 部会長、副部会長の選任を行った。結果は前掲表参照。

2 次回部会の開催

平成29年9月7日（木）午後2時から

以 上

次回開催日 平成29年9月14日（木）午後4時から